

だいご 大子

議会だより

目次

新たな議会のはじまり・議員紹介	2
令和6年第2回臨時会	3
令和6年第1回定例会	4～10
予算・決算委員会	11
議員活動報告します	12～13
あん ^{とき} 議会の質問は今?!	14
一般質問	15～21
「わくわくわたしの夢」	22



はじめまして！私たちが大子町議会議員です！

新たな議会のはじまり 令和6年第2回臨時会

大子町議会議員選挙が3月17日に行われ、11人の議員が決まりました。

4月10日には、改選後初めての臨時会が開かれ、正副議長の選挙や議会運営委員会、各常任委員会の選任などが行われました。

選挙の結果、議長に大森勝夫議員、副議長に須藤明議員が就任しました。

議員の任期は令和6年3月31日から令和10年3月30日までの4年間です。

また、町長から15件の議案が提出され、補正予算の専決処分などについて、全会一致で原案どおり承認・同意・可決されました。

【第40代議長就任あいさつ】



【10番】
(56歳)

- ① 頃藤 ② 5回
③ 自由民主党
④ 総務経済委員会
文教厚生委員会

大森 勝夫 議長

【第36代副議長就任あいさつ】



【7番】
(66歳)

- ① 下金沢 ② 3回
③ 無所属
④ 総務経済委員会

須藤 明 副議長

はたして町議会議員は政治家と名乗ってよいものか？町議の役割を真摯に考えるとき、疑問を抱いてしまうのです。「議会とは、住民代表の機関である」という表現に倣うのであれば、政治家を自認するより住民代表を意識したほうが、求められる議員になれるのではないかと。政治家という文言を冠した日から、驕慢な心へ変貌してしまうのではないかと。そんな思いを巡らせ、目指す議員の姿を探求し続けた4期16年でした。縮小していく時代は誰も経験したことが無く、町の将来に不安を感じるのは無理ありません。未知への不安は、さながら思春期の悩みと同様です。これからの議会は町のためになる政策を論議していきます。良き未来に変えていこうとする熱意を町民に届けていきます。いつの日か、あの時の不安は思春期の悩みのような時が訪れる時が訪れることを目指して。

この度、不肖私が議員各位のご推挙により副議長の要職に就任することになりました。誠に光栄に思いますと同時に、重く受け止め、身の引き締まる思いであります。

今日、少子高齢化の社会的構造の変化や益々厳しくなるであろう財政状況を考えますとき、議会の果たす役割は大きく、より町民の負託に応える議会づくりが求められているものと思っております。住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい大子町づくりに向け、初心忘れることなく、強い志を持って議長を補佐し、職責を果たしてまいりたいと思っております。

今後とも、町民の皆さまのより一層のご指導、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。就任のごあいさつといたします。

町政を担う 議員紹介 任期4年 令和6年3月31日から令和10年3月30日まで



【4番】飯村 剛 (55歳)

- ① 中郷 ② 2回
③ 自由民主党
④ 総務経済委員会委員長
議会運営委員会



【3番】根本 厚子 (63歳)

- ① 袋田 ② 1回
③ 無所属
④ 総務経済委員会副委員長



【2番】高村 和成 (37歳)

- ① 袋田 ② 1回
③ 無所属
④ 文教厚生委員会副委員長



【1番】介川 秀男 (52歳)

- ① 頃藤 ② 1回
③ 公明党
④ 文教厚生委員会
予算・決算委員会副委員長

プロフィール

- 【議席番号】氏名(年齢)
① 住所(大字)・② 当選回数・
③ 党派・④ 所属委員会等

第2回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
選挙第1号	大子町議会議長の選挙について	当選 大森勝夫議員
決定第1号	議席の指定について	
選挙第2号	大子町議会副議長の選挙について	当選 須藤明議員
	常任委員会委員の選任について	
	議会運営委員会委員の選任について	
選挙第3号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙について	当選 大森勝夫議員
議案第39号	大子町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第40号	大子町行政組織条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第41号	大子町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第42号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第43号	大子町介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第44号	損害賠償の額の決定の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第45号	令和5年度大子町一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第46号	令和5年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第47号	大子町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	大子町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	中心市街地排水処理施設整備工事(1工区)請負契約の締結について	原案可決
議案第50号	旧役場庁舎等解体工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第51号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第52号	大子町監査委員の選任について	原案同意
議案第53号	令和6年度大子町一般会計補正予算(第1号)	原案可決



【11番】齋藤 忠一
(67歳)

- ①大生瀬 ②5回
- ③無所属
- ④総務経済委員会



【9番】佐藤 正弘
(70歳)

- ①中郷 ②4回
- ③日本共産党
- ④総務経済委員会
議会運営委員会副委員長



【8番】菊池 靖一
(70歳)

- ①冥賀 ②4回
- ③無所属
- ④総務経済委員会
文教厚生委員会
予算・決算委員会委員長
議会運営委員会



【6番】福田 祥江
(50歳)

- ①大子 ②2回
- ③無所属
- ④文教厚生委員会
議会運営委員会委員長



【5番】川井 正人
(59歳)

- ①頃藤 ②2回
- ③自由民主党
- ④文教厚生委員会委員長
議会運営委員会

令和6年 第1回定例会

日本一幸せなDAIGOづくりに 103億5千万円（令和6年度一般会計当初予算）

令和6年第1回定例会が2月7日から2月19日までの13日間の会期で開催されました。

令和6年度一般会計予算などの町長提出議案などが36件、議員提出議案1件が審議され、全会一致で原案どおり可決・同意されました。

また、議員の定数を規定している条例が改正され、定数が13名から11名に変更されることになりました。

令和6年度 各会計予算

会計別	予算額	前年度比較（△減）
一般会計	103億5千万円	△4億5000万円
国民健康保険事業特別会計	23億6285万7千円	△5375万7千円
後期高齢者医療特別会計	3億2315万2千円	3207万2千円
介護保険特別会計	25億9712万4千円	△6487万6千円
介護サービス事業特別会計	1311万6千円	67万9千円
浄化槽整備事業特別会計	1億5699万2千円	2036万3千円
水道事業会計	8億8398万6千円	1億1167万8千円
総額	166億8722万7千円	△6億2719万7千円

令和6年度当初予算5つのポイント ～日本一幸せなDAIGOづくり～

〈基本方針〉

令和5年度末で第6次大子町総合計画が終了することから、計画の達成状況を点検・評価し、残された課題への対策、今後必要となる取組を落とし込んだ事業展開に努めます。

また、情勢や環境等の変化を念頭に置き、未来を見据えた予算となるよう、計画の将来像である「魅力あるストーリーで 新しいまちの景色を創り未来へつなぐ DAIGO」の実現に向け、重点施策の積極的な展開を図ります。



ポイント1 誰もが安心・安全に暮らせる思いやりに満ちたまちづくり

・ 中心市街地排水処理施設整備工事	1億3384万円
・ 水路改良工事	5930万円
・ 中心市街地管渠敷設工事実施設計業務	1310万円
・ 町道管理作業報奨金	533万円
・ 国道118号 池田地区水道管移設工事	5380万円
・ AI乗合タクシー運行業務	3639万円
・ 带状疱疹ワクチン任意予防接種助成事業	440万円
・ 男子HPVワクチン任意予防接種助成事業	156万円



ポイント2 未来を担う心豊かな人を育むまちづくり

・ 教育ネットワークシステム更改業務	2280万円
・ 大子町中学生海外語学研修現地調査業務	1098万円
・ 子育て祝金	285万円
・ 大子清流高校魅力アップ事業	147万円
・ 大子清流高校下宿等費用	144万円
・ 部活動地域移行コーディネーター報酬	109万円
・ プロスポーツ応援事業観戦チケット料	101万円



ポイント3 元気、にぎわい、活力ある産業を創造するまちづくり

・ 森林環境譲与税活用事業（林業事業体合同採用募集業務）	843万円
・ 森林環境譲与税活用事業（インフラ周辺等森林整備事業）	120万円
・ 農地利用効率化等支援事業補助金	600万円
・ 森林関連教育イベント実施業務	200万円
・ 経済産業省関東経済産業局との連携事業	1562万円
・ 特産品看板改修工事	120万円



ポイント4 地域の資源を^{つむ}紡ぎ町のストーリーとして発信するまちづくり

・ 観光交流施設設計・監修及び造成工事	9740万円
・ 大子町営研修センター研修棟改修監理及び工事	5848万円
・ インバウンド需要を見込んだブランディング戦略業務	5300万円
・ 官民共創タウンプロモーション構築業務	300万円
・ コミュニティ助成事業補助金	250万円
・ 観瀑施設吊橋点検業務	180万円
・ 袋田観瀑施設フットライト改修等工事	140万円
・ 台湾からの誘客推進業務	120万円



ポイント5 交流と協働による、魅力あふれ、健全で持続可能なまちづくり

・交流拠点施設建設工事	7 2 5 6万円
・都市計画マスタープラン見直し業務	3 1 0万円
・交流拠点施設管理業務	1 5 3 8万円
・ゼロカーボン推進事業補助金	2 7 5万円
・大子町役場障がい者用駐車場整備工事	2 5 1万円
・地区計画変更等決定図書作成業務	2 0 1万円

令和6年度全体では87の新規事業、14の拡充事業、12の継続事業が実施されることとなります。

■ 議員定数削減のいいところ不安なところ

令和6年3月31日からの改選で大子町議会議員数は13名から11名に変わりました。

議員の人数が減ったことで一体何が変わるの？

この機会にいいところと不安なところをちょっと考えてみましょう！

いいところ（メリット）

全体的な議員報酬などの費用が削減されます。

1年間の議員報酬の総額を比較すると

【13人の場合】 6 4 3 7万円 ①

【11人の場合】 5 4 6 2万円 ②

①－②＝9 7 5万円削減されることになり、4年間（議員の任期）では3 9 0 0万円になります。



不安なところ（デメリット）

町民の意見が行政に届きにくくなるなどの不安があります。

町議会の議員は選挙によって選ばれ、住民を代表して審議決定をしたり、町政の監視機能としての役割を果たします。少数よりも多数のほうがより活発な議論が展開され、住民意思の反映にも大きく影響します。一般的には、少数になることで質問の減少や質疑などのかたよりが生じて、町民の意見が行政に届きにくくなることが心配な点として挙げられています。

大子町では、常任委員会の定数を減らすことなく、今までと同じような議論が行えるように配慮しています。

一般会計補正予算(第10号)の主なもの

歳入	補正額
国庫支出金	△6040万6千円
県支出金	726万2千円
地方債	△1020万円
繰入金	△3億4442万円

歳出	補正額
障害福祉サービス給付費	2900万円
儲かる産地支援事業補助金	△1323万7千円
担い手確保・強化支援事業補助金	876万4千円
訪問介護事業費補助金	374万2千円
介護用品事業補助金	291万3千円
空き家バンクリフォーム助成金	150万円

特別会計等の主な補正額

歳出	補正額	補正後の予算額
大子町国民健康保険事業特別会計(第3号)	144万円	24億2987万5千円
大子町後期高齢者医療特別会計(第2号)	△398万1千円	2億8987万7千円
大子町介護保険特別会計(第3号)	△343万7千円	27億3412万2千円
大子町介護サービス事業特別会計(第3号)	8万4千円	1280万円
大子町浄化槽整備事業特別会計(第3号)	△3126万円	1億583万2千円
大子町水道事業会計〔収益的収入〕	302万7千円	4億7479万7千円
〃〔収益的支出〕	2182万7千円	5億3860万1千円
〃〔資本的収入〕	1億1028万2千円	3億2347万8千円
〃〔資本的支出〕	1億2054万9千円	6億1939万6千円

第1回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
議員提出議案第1号	大子町議会議員定数条例及び大子町議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	大子町養護老人ホーム入所判定委員会条例	原案可決
議案第4号	大子町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償並びに証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

議案第6号	大子町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	大子町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	大子町産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	大子町手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	大子町立小、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	大子町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	大子町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	大子町営住宅及び特定町営住宅条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	令和6～9年度版小学校教師用指導書及び令和6年度特別支援教育用指導用教材の取得について	原案可決
議案第15号	第7次大子町総合計画の基本構想及び基本計画の策定について	原案可決
議案第16号	大子町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第17号	大子町交流拠点施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第18号	大子町営研修センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第19号	袋田観瀑施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第20号	大子温泉保養センター森林の温泉の指定管理者の指定について	原案可決
議案第21号	大子町観光物産館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第22号	大子駅前駐車場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第23号	奥久慈茶の里公園の指定管理者の指定について	原案可決
議案第24号	大子町教育委員会教育長の任命について	原案同意
議案第25号	令和5年度大子町一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第26号	令和5年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第27号	令和5年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第28号	令和5年度大子町介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第29号	令和5年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第30号	令和5年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第31号	令和5年度大子町水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決

委員会報告第1号	常任委員会審査報告（予算・決算委員会）	原案可決
議案第32号	令和6年度大子町一般会計予算	原案可決
議案第33号	令和6年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和6年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第35号	令和6年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第36号	令和6年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	令和6年度大子町浄化槽整備事業会計予算	原案可決
議案第38号	令和6年度大子町水道事業会計予算	原案可決
	閉会中の継続審査の申し出について	原案決定

大子町教育委員会教育長に佐藤洋彰さんを任命

大子町教育委員会教育長の松本成夫さんが、令和6年3月31日で任期満了となるため、後任として佐藤洋彰さとうひろあきさんを任命することに同意（第1回定例会）しました。任期は令和6年4月1日から令和9年3月31日までです。

大子町教育委員に鈴木弘子さんを任命

大子町教育委員会委員の北原幸子さんが、令和6年6月15日で任期満了となるため、後任として鈴木弘子すずきひろこさんを任命することに同意（第2回臨時会）しました。任期は令和6年6月16日から令和10年6月15日までです。

大子町監査委員に須藤明さんを選任

大子町監査委員のうち町議会議員から選任されている鈴木陸郎さんが、令和6年3月30日をもって任期満了となったことから、後任として須藤明すどうあきらさんを選任することに同意（第2回臨時会）しました。任期は令和6年4月10日から令和10年3月30日までです。

陳情に対する結果報告

令和5年第4回

	陳情名	陳情者	付託委員会	結果
3	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	福岡県行橋市 小坪 慎也	文教厚生委員会	継続審査

※議員任期満了により審議未了廃案となりました。

町内施設の指定管理者が指定されました！

今回は、袋田観瀑施設など6施設の指定管理者が次のとおり指定されました。

指定管理者制度とは



町が設置している公の施設の管理を民間事業者などが担う仕組みのことで、議会の議決を経て町が指定します。この制度により、更なる経費削減や住民サービスの向上が期待できます。

指定管理者に管理を行わせる施設	指定管理者に指定する団体	指定する期間
○名称 大子町交流拠点施設 ○所在地 大子720番地4	○所在地 大子町大字池田2830番地1 ○名称 一般社団法人大子町振興公社 ○代表者 理事長 高梨 哲彦	令和6年5月1日～ 令和9年3月31日
○名称 大子町営研修センター ○所在地 北田気662番地	○所在地 大子町大字池田2830番地1 ○名称 一般社団法人大子町振興公社 ○代表者 理事長 高梨 哲彦	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日
○名称 袋田観瀑施設 (袋田の滝トンネル、第1観瀑台、 第2観瀑台、展望台) ○所在地 袋田3番地19ほか	○所在地 大子町大字池田2830番地1 ○名称 一般社団法人大子町振興公社 ○代表者 理事長 高梨 哲彦	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日
○名称 大子町観光物産館 ○所在地 池田2830番地1	○所在地 大子町大字池田2830番地1 ○名称 一般社団法人大子町振興公社 ○代表者 理事長 高梨 哲彦	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日
○名称 大子駅前駐車場 ○所在地 大子719番地9	○所在地 大子町大字大子722番地1 ○名称 大子町観光協会 ○代表者 会長 川井 正人	令和6年4月1日～ 令和9年3月31日
○名称 奥久慈茶の里公園 ○所在地 左貫1920番地	○所在地 大子町大字左貫1920番地 ○名称 茶の里公園組合 ○代表者 理事長 菊池 富雄	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日

■予算・決算委員会による 令和6年度当初予算の審査

令和6年度当初予算（議案第32号から議案第38号まで）については、予算・決算委員会に付託され2日間にわたり審査が行われました。

審査終了後の採決の結果、すべての議案について原案どおり可決されました。



予算・決算委員会の進行を務める菊池委員長

予算・決算委員会での主な質疑

※一部を抜粋して掲載しています。

問 AI タクシーが1台増えて3台体制での運用を考えているとのことだが、予算や今後の運行の概要は？

答 1台の増加で約1,000万円増えるの見込んでいる。早朝や夜の運行については、増やしたい考えはあるがドライバーの確保が課題である。乗降場所は、目印の建物などがあれば増設は可能なので、要望がある場合は町まで相談してほしい。
【まちづくり課】

問 官民共創のプロモーション事業の概要は？

答 町内の観光業、商工会、旅館業の方々や、大子町に関心のある方などから公募して、SNSなどの情報発信を担ってもらうための事業である。講師を迎えての講座や交流会なども予定している。
【まちづくり課】

問 役場外部トラス高圧洗浄業務の内容と今後の展望は？

答 庁舎外壁などの効率的な洗浄作業の方法の1つとして、高所作業車による高圧洗浄を予定している。今後は、木材の劣化状況や塗装の状況などを確認しながら対応していきたい。
【総務課】

問 介護事業所支援のための効果的な介護人材確保対策事業の概要は？

答 町内の介護施設等で働く従業員は、現在、従業員1人に対して要介護（支援）認定者3.3人を支えている計算となる。何も対策をしない場合、2040年には6.4人まで跳ね上がるという試算が出ている。この数字をできる限り少なくするために、町内の介護事業所等へのDX化等の支援をはじめ、効果的な人材確保の施策検討のための実態調査、分析を行う。

また、この事業と同時に、介護が必要な高齢者が増えないよう、様々な分野で介護予防についても力を入れていく必要がある。
【福祉課】

問 森林環境譲与税は令和5年度と比較して約1800万円ほど多く見込んでいるが、その理由は？

答 令和5年度までの町と県の割合が88対12だったが、令和6年度からは90対10に変わるため。また、森林環境譲与税総額が500億円から600億円になることも要因である。
【農林課】

問 男子のヒトパピローマワクチン予防接種者が増えるよう期待しているが、PR方法はどのように考えるか？

答 お知らせ版のほか、学校を通してパンフレットなどを配布したい。
【健康増進課】

問 地域資源ブランディング事業とはどんなことをするのか？

答 販路開拓への実践的な支援として、令和5年度はECサイト（買い物ができるWebサイト）や海外展開に関する勉強会を、町内事業者や近隣自治体の事業者向けに実施した。令和6年度も事業者の声を聞きながら、経済産業省補助金なども活用し進めていく予定である。
【観光商工課】

問 令和6年度に予定している道路改良工事の内容は？

答 押川橋の橋りょう補修、後冥賀地区の法面修繕、高柴地区の舗装修繕、南中学校付近及び塙地区の通学路安全対策工事を予定している。また、大生瀬地区の舗装改良工事や中郷地区、下野宮地区の道路改良工事を予定している。
【建設課】

問 部活動地域移行コーディネーター報酬の具体的な内容は？

答 令和6年度は、ソフトテニスとサッカーを実証事業と位置付けて進めていきたい。この2つの競技については、指導者の確保が見込めたので予算化した。その他の競技については、今後、段階的に進めていきたい。
【教育委員会事務局】

問 浄化槽の処理能力に応じた性能のランクがあるようだが、町ではどれくらいのランクのものを整備しているのか？

答 浄化槽には窒素除去型などいくつかの性能区分が設けられていて、湖沼等に流入する河川の流域においては高度処理型浄化槽の設置が求められるが、町においては通常型の浄化槽により整備を進めている。
【生活環境課】

議員の活動報告します！

1月、2月、3月、4月は主に次のような議員活動を行いました。

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県町村長・町村議会議長会合同定例会〔議長〕 ・水郡線マイレール意識醸成シンポジウム〔各議員〕 ・議会運営委員会・全員協議会〔委員・全議員〕 ・後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・全員協議会〔議長〕 ・山形県中山町議会特別委員会行政視察対応〔副議長〕 ・全員協議会〔全議員〕
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回定例会（7日～19日） ・衛生センター竣工式〔全議員〕 ・町村自治功労者表彰式〔議長〕 ・立地適正化計画策定委員会〔委員〕
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・百段階段でひな祭り〔議長〕 ・大子町議会議員一般選挙 ・4年間の議員任期が満了（3月30日）
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・全員協議会〔全議員〕 ・第2回臨時会〔全議員〕

ピックアップ

■議員と話そう会の声を町長にお届け！

令和5年に実施した、「議員と話そう会」に参加された皆さんの声を町長にお届けしました。

また、文教厚生委員会が主体となって実施した「大子清流高校生との意見交換会」の内容を合わせて報告しました。

今回の報告書は、菊池議長、齋藤副議長及び大森議会運営委員長の3人が3月7日に町長と面会し、直接町長に手渡しました。そして「町民の声として、今後の事務遂行時の参考にしてほしい」旨を伝えました。



高梨町長に報告書を手渡す菊池議長、齋藤副議長、大森議会運営委員長

【議員と話そう会実施団体】

- ・大子清流高校生との意見交換（NO. 213）
- ・大子町高齢者大学（NO. 215）
- ・大子町地域女性団体連絡会（NO. 216）
- ・大子町PTA連絡協議会（NO. 216）

議会だよりに「議員と話そう会」の内容を掲載しています。下記のQRを読み込んでご覧ください。



■衛生センター竣工式典

2月17日に、衛生センターの竣工式典が開催され、私たち町議会議員も出席しました。

式典には、国会議員や県議会議員など多くの来賓者が出席され、テープカットなどのセレモニーが行われました。

衛生センターは、令和元年東日本台風により甚大な被害を被ったため、国からの補助などを受けて新たに建築したもので、令和6年2月から運用が開始されました。



祝辞を述べる菊池議長

■初顔あわせ！

新たなメンバーで全員協議会！

4月2日に、改選後初めての全員協議会を開いて今後の議会運営に関する協議を行いました。

協議の中で、常任委員会（総務経済委員会、文教厚生委員会）の各委員が決まり、第2回臨時会に於いて委員長が決定しました。（詳細はP2をご覧ください。）



議員章（バッジ）の貸与を受ける新人議員

■大子町へようこそ！（行政視察・校外学習）

県外2市町の議会議員の方々に訪問いただきましたのでご紹介します。

また、2月27日には依上小学校とさはら小学校の3年生（現在は4年生）が校外学習で役場庁舎を訪れ、議場などを見学しました。

山形県中山町議会 (治山・治水特別委員会)

【視察概要】 新庁舎建設



栃木県さくら市議会 (文教厚生常任委員会)

【視察概要】 フォレスパ大子の管理運営について



依上小学校・さはら小学校 (3年生)

【視察概要】 合同校外学習
(役場見学会)

左の写真は2校合同で撮影したものです。



あん議会の質問は今？！

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は、以前に一般質問などで取り上げた話題や事業が令和6年度に予算化され、実際に始まる事業をいくつかご紹介します。



①【帯状疱疹ワクチン接種の助成】〔一般質問：令和4年第4回定例会〕

あん議会（とき）の質問	そん時の答弁
<p>帯状疱疹の発症は、50歳上になると発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われている。予防にはワクチン接種が有効だが高額である。町で助成できないか。</p>	<p>現在は任意（各自の希望で受ける）の予防接種である。国の厚生科学審議会で、定期予防接種の検討が進められている。町では、国や県と意見交換をしながら検討していくので、少し時間をいただきたい。</p>



事業名・予算額	令和6年度の事業内容
<p>〈帯状疱疹ワクチン 任意予防接種事業〉 440万円</p>	<p>◎65歳以上の高齢者を対象に、帯状疱疹ワクチン接種に係る費用の1/2を助成する。 ◎助成上限は生ワクチン1回分4,000円、不活化ワクチン1回10,000円×2回分まで。</p>

②【子宮頸がん予防のための施策】〔一般質問：令和5年第2回定例会〕

あん議会（とき）の質問	そん時の答弁
<p>子宮頸がんの95%以上はヒトパピローマウイルスの感染が原因で、性交渉で感染するとされている。</p> <p>日本でも9歳以上の男性に4価ワクチンの適用が追加された。男性自身の中咽頭がん、陰茎がんなどの予防もでき、男女間での感染を防ぐことができるが男性への接種費用も助成できないか。</p>	<p>現在のところ任意の予防接種に位置付けられている。厚生労働省の専門家の会議で定期接種の位置付けなどの議論が予定されているので、国の動向に注視したい。</p> <p>幅広い年代への様々な疾病に関して、均一サービスを町民に提供して行く問題だと受け止めている。今後検討していきたい。</p>



事業名・予算額	令和6年度の事業内容
<p>〈男子HPVワクチン 任意予防接種助成事業〉 156万円</p>	<p>◎小学6年生～高校1年生の男子を対象にHPVワクチン（4価ワクチン）の接種を希望する方へ接種に係る費用の全額を助成する。</p>

令和6年 第1回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

6名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
交流拠点施設の管理委託先は	P.16	菊池 富也 議員
少子化対策、観光振興策について		
自転車オフロードコース計画は	P.17	大森 勝夫 議員
立地を生かした大子西中学校の活用策は		
仕事のマッチング事業の実現性は	P.18	福田 祥江 議員
住宅の耐震改修工事に使える補助金は		
超高齢化社会に向けたまちづくりは	P.19	川井 正人 議員
中学校の統合後における通学方法は		
魅力を伝えるための観光振興を	P.20	飯村 剛 議員
農業への関心が高まるような施設整備を		
まちがいなく知名度向上に繋がる		
水門整備を含めて町から要望を	P.21	藤田 稔 議員

一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をたずねます。



また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をたずねることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

おうちで議会を視聴しよう!

大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることができます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから [議会中継](#) クリック



スマートフォンから



問 交流拠点施設の管理委託先は

答 大子町振興公社を予定している



菊池富也 議員

【菊池】 大子町交流拠点施設の委託先、委託料及び施設概要について伺う。

【まちづくり課長】 指定管理者は大子町振興公社を予定している。管理委託料は、約1500万円とし、人件費、保守点検料、光熱費等である。1階は、カフェや軽食のとれるスペース、特産品の展示販売、2階は、町民や観光客が交流できるフリースペース、3階は、学生向けのスペースを予定している。

【菊池】 振興公社は、今後ますます業務量が増大して

いくうえ、町長が理事長職を兼務している現状である。この状況を町長はどう考えているのか。

【町長】 振興公社には、資金管理や職員管理などの実務者が現場にいる。安定経営ができるまでの状況を見極めたうえで、更に大きな業務量となれば、信頼できる者に理事長を任せることになるかもしれない。

【菊池】 福寿荘公衆無線LANの整備について伺う。現在の福寿荘には、既に無

線LANが整備されているはず。なぜ、新年度で500万円以上をかけて整備する必要があるのであるのか。また、指定管理者ではなく、なぜ町が整備しなくてはならないのか。

【観光商工課長】 現在、福寿荘に設置されている公衆無線LANは、ロビー周辺が利用できる。客室で利用できないので、今回、整備を進める。今回の整備は、環境を整えることで利用者の利便性を向上し、誘客につながることから、また、指定管理における修繕区分の観点に基づいて整備を進めることとした。工事費が高額との指摘であるが、アクセスポイントや管内

新築される大子町交流拠点施設



の状況を調査し、予算を算出した。町が整備を実施するのは、現在の社会情勢を踏まえ、公共施設が備えておく設備であると判断した。

【菊池】 中学生海外語学研修現地視察業務の内容と必要性について伺う。昨年も実施しているが、本年度は、1千万円以上の予算が計上されているので、その必要性について伺う。現在は、インターネットやユーチューブなどで現地の状況や内容の確認ができるのではないか。

【教育委員会事務局長】 昨年度は、フィリピン及び台湾の現地調査を実施、本年度は新たな候補地も含め、語学研修施設や現地の文化等を学ぶ事業を決定するため、中学校の教員や町議会議員の参加により調査を実施する。この事業は、日本を離れ、約100名が参加する研修となるので、現地調査が必須となる。

少子化対策、観光振興策について

【菊池】 ここ5年間で人口は2000人が減少し、高齢化率も4%上昇している。町の対策は。

【町長】 非常に難しい問題である。町の医療を守っていくこと、これまでの施策を維持・継続することとしている。

【菊池】 新たに町内に入ってくる定住者や観光客を増やすための施策は。

【観光商工課長】 大子町総合計画や大子町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、知名度の向上と観光交流人口、移住・定住希望者の掘り起こし等を考えている。観光の観点から、施設の改修・充実、体験型コンテンツの開発、インバウンド向けの情報発信などによる観光客の増加を図る。

【菊池】 八溝山の眺望について、昨年の町の動きは実施したが、眺望についての活動はしていない。

問 自転車オフロードコース計画は

答 約2年後のオープンを目指す



大森勝夫 議員

るダメージを避けるため冬季はクローズを想定している。

【大森】道の駅でのロードバイクのレンタルが好評である。新設コースにも初心者が体験しやすいように、オフロード自転車のレンタルをすれば、施設の集客力が高まる。検討できないか。

【観光商工課長】計画中のマウンテンバイクコースは、子どもの未経験者から愛好家まで楽しめる多様性のあるコースを想定している。未経験者の需要に対応できるように、マウンテンバイクのレンタルも収支予測を行ったうえで検討したい。

【大森】ジップラインなどアウトドア・アクティビティを楽しめる施設も併設を計画しているが、簡易な無料施設なのか、有料化できる程度の施設なのかを伺う。

【観光商工課長】町の自然を生かした観光誘客策のひとつであり、類似の事例を考慮しながら検討を進めている。安全管理の面で設備メンテ

ナンスは必須であり、有料施設としての運営を想定している。

立地を生かした大子西中学校の活用策は

【大森】中学校統合後の空き校舎活用の構想だが、大子西中学校は大子清流高校の芦野倉農場に近い。大子清流高校の補助施設としてサテライト教室などの利用を想定してはどうか。

【教育委員会事務局長】大子清流高校には、芦野倉農場にWiFiやエアコンが整備された教室があり、現状の施設で授業に支障はない。使用目的が教育施設とするならば、旧黒沢小学校をルネサンス高等学校が活用しており、そのような手法もある。

【大森】大子清流高校支援の観点から、学生寮としての活用検討はできないか。全国から生徒が集う高校には宿泊施設が必須である。校舎の一部を大子研修セン

ターのような宿泊施設に改修して学生寮にする。また、寮としての利用だけでなく、農業就労希望者の宿泊所としても機能させ、人材確保につなげる。また、計画中のマウンテンバイクコースから近いので、滞在型のアウトドア・アクティビティを提案できる施設にもする。活用の構想として検討してはどうか。

【教育委員会事務局長】大子清流高校の全国募集による入学者の住居は、希望に応じてアパートや旅館などの施設を想定している。大子研修センターの一部を寮として活用する手法も想定しており、将来的に全国募集の入学者が一定の人数になった段階で寮としての活用を視野に入れている。

全国の廃校後の活用事例の情報収集に努め、関係各課と連携を図り廃校後の活用について検討をしていきたい。

【大森】大子町のアウトドアスポーツ推進のひとつに自転車がある。マウンテンバイクで走るオフロードのコースは希少性があり、知名度向上と集客が期待できる。浅川地区のポナイの森に自転車オフロードコースの整備計画が進展している。運用開始の目途はいつ頃か。

【観光商工課長】令和6年度に実施計画、令和7年度に工事着工の予定なので、令和7年秋もしくは令和8年春オープンになる。未舗装コースなので、降霜によ



イメージ写真ですが、マウンテンバイクのコースは大子のアウトドア・ブランディングに役立ちます

問 仕事のマッチング事業の実現性は

答 町が何かできるか調査研究していく



福田祥江 議員

ージや役場ロビーに掲示している。また清流高校で説明会を行ったり、企業ガイドブックを作成したりしている。

【福田】ハローワークの情報は大子町に特化していない。また短期のパートやアルバイトなどの情報は得られない。公式ラインやアプリに掲示板機能をつけるようなことは不可能なのか。

【観光商工課長】町事業者からは、人手不足といった

声が多数届いている。繁忙期にパートを探しているとの声も聞く。スケターのようないくということもDXにつながる。若年層も意識しつつ、より利便性が向上するような取組で、町はどのような事ができるのか調査研究をしていきたい。

住宅の耐震改修工事に使える補助金は

【福田】大子町に住みたいが仕事がないという声を聞く一方で、事業者からは人手不足の声をよく聞く。報酬や時間などの条件面での不一致もあると思うが、双方のニーズが知られていない側面もあると感じる。町のなかで町内の働く場の情報を得られて、マッチングが行えるのとより良いのではないかと思うが。

【観光商工課長】現在、毎月ハローワーク常陸大宮による巡回労働相談会を開催し、求人情報を町ホームページ



役場内のハローワークからの情報の設置場所

【福田】自然災害は避けて通れない。そこで被害を最小限に抑えるための「減災」という考えがある。減災には日々の備えが重要である。令和5年第2回定例会で、要配慮者に対する避難所の体制について質問し、尿取りパッドや長時間用の生理用品などの備蓄を提案したところではあるが、その後、備品で整えたものはあるか。

【総務課長】哺乳瓶に移し替えずに缶のまま授乳ができる液体ミルクと全身清拭できる防災用タオルを購入した。

【福田】茨城県では令和2年までに住宅の耐震化率を95%にすることを目標にしてきたが、大子町では古い耐震基準の住宅が52%と突出している。大子町耐震改修促進アクションプログラム2023というものを策定しているが、当町における補助の内容と実績は。

【建設課長】昭和56年5月31日以前に建築された住宅に対し、本人負担2千円で

診断士を派遣、耐震性がないと診断された場合、耐震改修設計と工事を一括して行う場合に費用の5分の4、限度額100万円の補助、緊急輸送道路や通学路に面する沿道のブロック塀の撤去費用の3分の2、限度額15万円を補助するものがある。令和2年から5年度までで耐震診断は4件、住宅改修は0件、ブロック塀撤去は4件であった。

【福田】耐震改修工事費は相場として150平方メートル、2階建て140万円から210万円かかるというのを見た。他に使える補助はないか。また周知に工夫は。

【建設課長】町で行っている住宅リフォーム補助金も利用可能であると考えている。インターネットでの情報が届きにくい高齢者世帯には、民生委員や区長など地域の皆様の力を借りて周知していきたい。

問 超高齢化社会に向けたまちづくりは

答 健康・長寿のまちづくりを進める



川井正人 議員

【川井】 2050年には大子町の人口が2020年と比較して60・4%減少し、1万5700人から6200人となり65歳以上の高齢者の割合は63・3%となる新聞報道が町民に衝撃を与えた。町は超高齢化社会を見据えどんな構想を描いているのか。

【まちづくり課長】 第7次総合計画においても、人口減少問題への対応を町の最重要課題として位置付けている。すべての町民が生涯にわたって活躍し生き生きと暮らすことができる健康・長寿のまちづくりを進め、

人口減少が進んだ社会を想定して、それに適応するまちづくりを進めていくことが重要であると考えている。

【川井】 神奈川県藤沢市に民間の取組として多世代共生型のアパートが誕生した。入居条件として、若い人たちは高齢者に対し朝晩の出勤時や、通学時の声かけ、月1回のお茶会等を主催することで家賃が半額になるというシステムで運営している。また「えんが



笑顔あふれる場所” えんがお”

お」という大田原市の事例は、「ごどく」と「ごりつ」を地域の現場から変えていく、独居高齢者の10人に1人が1週間に1回しか人と話さない、人生の締めくくりの大切な数年間を誰とも話せず、誰にも頼れず孤立化して終わる、この現実が悔しくて会社を立ち上げた。これらの事例を鑑み、多世代共生型のアパート的な高齢者を優先した住宅の建設推進や実証実験の可能性について町の考えは。



多世代が集まる場所” えんがお”

【町長】 まずは今お住まいの地域で健康に楽しく長く暮らしていただけることを念頭に置いている。若者と高齢者たちの介護も含めた住宅の必要性があるという事であれば、その時に判断することになる。必要性があれば将来的に必要なだと考えているというふうにつまえていただきたい。

【川井】 町として将来の自動車運転社会に備え、一定の要件を満たした高齢者が複数で自動車運転車両をシェアする目的で購入する場合等その補助に向けた基金等を設置する考えがあるか。

【まちづくり課長】 完全自動運転技術が市場化し、町民の移動手段として、自動運転車両の必要性が高まった際には必要な支援や環境整備ができるよう引き続き調査研究に努め、政府の動きや今後の自動車運転技術の進捗を注視していく。また、AI乗合タクシーなど、AI乗合タクシー利用助成券の交付枚数を増やすなど、事業のさらなる拡充に努め、自家用車を使わな

くても生活できる外出環境の整備を推進したいと考えている。

中学校の統合後における通学方法は

【川井】 中学校が統合されることで広域からの通学網を構築する必要がある。バスやAI乗合タクシー等様々な交通手段がある中、財政面やJR水郡線の利用促進も考え、水郡線を使いた交通手段は検討できないか。

【教育委員会事務局長】 具体的な通学方法については、内容が示せる段階において、対象となる保護者の方を対象として説明会を開催していきたいと考えている。



通学に水郡線の利用も選択肢

問 魅力を伝えるための観光振興を 答 更に企画の磨き上げを図る



飯村 剛 議員

ように行っていくのか。

【観光商工課長】 昨年開催した八溝山頂を目指すイベントを実施。今後も町の全体的なコースの路面清掃、支障木の伐採、危険箇所 の点検を行い改善に努めてい

く。

【飯村】 大子来入レーザーショーでの来客の反応は。 【観光商工課長】 リピーターからSNSの投稿が増加した。

【飯村】 滝の魅力をもっと伝えるため新たな光の演出に挑戦してみたいかがか。

【観光商工課長】 袋田清流会が「袋田の滝月明かり」の演出を行っている。今後調査研究を行い魅力の向上が図れるように頑張っていく。

【飯村】 来客が駐車場から売店などもっと楽しみなが

ら長く滞在できるように環境整備についてはどのようなことを行っていくのか。

【観光商工課長】 観光客に袋田の滝を選んでいただく話題づくりなど袋田清流会、観光協会、ホテル・旅館組合と進めている。遊歩道整備については支障木の伐採やウッドデッキ整備など県のインバウンド対策の補助事業を活用していく。

農業への関心が高まるような施設整備を

【飯村】 令和7年度の中学校統合により閉校になる校舎の活用について、わが町は日本一の米や果樹、お茶などたくさんの特産物がある。空き校舎を中心とした「体験型農業テーマパー

ク」の整備を行い、農業に興味を持った移住者促進に繋げてみてはいかがか。

【農林課長】 優良事例として行方市では地元JAが中心となり、民間企業が廃校舎を買い取り、工場や体験施設、レストランなどの整備をし、各種の体験プログラム等を提供している。今後は町有財産処理活用審議会を通して町民の意見を伺いながら、茶の里公園、おやき学校などの関連性を重要視し企業の進出意向の情報収集に努めていきたい。

まちがいなく知名度向上に繋がる

【飯村】 先般から観光誘客の一つとして挙げているドックランの整備をしてはい



行方市では廃校と耕作放棄地を利用して整備を行っている

かが。

【観光商工課長】 現在、道の駅北側に実施計画を進めている。笠間市においては民間企業が廃校をドックランにしている事例がある。大子町においても民間企業の参入の可能性を考えつつ、検討の一つに上がっていくのではないかと思う。

問 水門整備を含めて町から要望を

答 「止水板で」と国交省が判断



藤田 稔 議員

反映して、陸地側に改めて止水板を設置する。強度計算をして、安全性が確保されていることを久慈川緊急治水対策河川事務所により説明を受けている。

【藤田】 大子町では、災害発生時に備えた飲食物等の備蓄は、十分対応できる状況にあるか伺う。

【総務課長】 備蓄計画上何とか確保出来ているのではないかと認識している。

【藤田】 各基幹避難所への電源確保状況を伺う。

【総務課長】 建設業協会と引き続き連携していきたい。

【藤田】 撤去された松沼橋側における水門、消防水利の再整備の現状を伺う。

【建設課長】 消防車両が河川近くに進入できる要望を

役割が果たせない恐れがあるとされている。代替地を含めた今後の方針を伺う。

【消防長】 消防庁舎は、消防活動の中枢拠点となる。浸水対策を行った上で建替えるのか、移転新築するか。各関係課と情報を共有して移転先を含め慎重に環境を整備していきたい。

【藤田】 止水板が木造で水が一滴も入らないのか。水門設置も含めて町から要望をして頂けるか伺う。

【町長】 まちなかの災害を心配する方々、消防団の皆さん、住民の皆さんともう一度協議することになると思う。その中で丁寧な議論をしていく問題だと認識している。

【藤田】 現消防庁舎は、旧耐震基準で建設された建物で施設・設備の老朽化が著しく、かつ浸水想定区域に位置していることから防災拠点としての



町民の安全、安心を守る消防庁舎整備を

【藤田】 消防庁舎建替えにあつては、大子町研修センター研修棟、体育館、プール等の敷地の活用など検討

してはどうか。

【町長】 研修センターの利用率が高くなっていることを踏まえた中で、消防庁舎の建物に関しても喫緊の課題であるので、検討して出来るだけ早い段階ではつきりさせたい。

【藤田】 大子町が振興公社に委託している施設の委託料また事業実績はどうか。さらに新たに委託する施設はあるか伺う。

【観光商工課長】 フォレスパだいごは1億300万円、グリーンヴィラは9460万円、その他大子広域公園他トータルで2億3633万8千円となっている。事業実績は、道の駅奥久慈だいが1億8327万1198円、グリーンヴィラが1億2468万7241円、その他フォレスパだいご、大子広域公園等売上総合で7857万8773円である。町からの燃料高騰対策、コロナ対策の受取補助金2310万円が含まれている。大子町交流拠点施設管理を

振興公社に指定するべく今定例会に上程している。

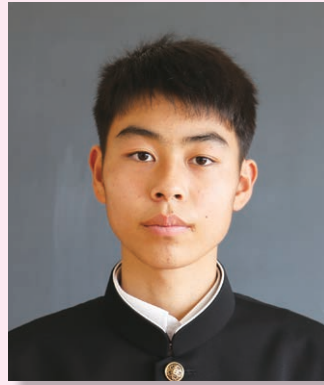
【藤田】 民間企業への委託を考えるとどうか伺う。
【町長】 民間委託は理想であるが、現存の振興公社の母体で黒字化して民間企業が参入できるように短期的に挑戦していきたい。

【藤田】 少子化や高齢化対策など、町の将来を見据え今後どの様に町政に反映していくのか考えを伺う。

【町長】 少子高齢化の人口減少問題の真つ只中にあると認識している。果敢に取り組んだ施策が成功すれば高齢者に対する先進地のモデルになるような部分もあると思っている。一方では、今までの文化、慣習、大子町の住民に特化した施策はしっかり残して高齢者の安定した生活は守っていくという話をしている。子どもたちの語学教育、子育てに関わる医療分野の充実に早々に取り組んでいきたい。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



大子中学校3年
しらい ゆうせい
白井 悠惺さん

私は、4歳からサッカーを習い始め、小学校3年生のときにサッカー少年団に入団し、そこから本格的に練習してきました。私の強みはスピードです。ピッチの中では誰にも負けない自信があります。そのスピードを生かしたプロサッカー選手になるのが私の夢です。

私は運動が大好き過ぎて何度も怪我をしました。その度に、いつも寄り添ってくれる家族がいました。その家族のことを思うと、より一層、夢を叶えたいと思う気持ちが強くなりました。自分の夢を叶えることは、今まで支えてくれた人達への最大の恩返しになると思います。

もっともっと練習をして、大子町出身のプロとなり、活躍したいです。

移住者応援支援隊

移住者応援支援隊の第2弾は「劇団村人行進曲」を紹介します。

この劇団は、東京で俳優をしていた齋藤正博さんが座長を務める劇団で、齋藤さんは大子町にUターンして「村人行進曲」という劇団を旗揚げしました。

4月27日には町民向けの「演技ワークショップ」が開催され、11月に行われる旗揚げ公演に向けての準備が着々と進んでいるようです。

地域密着型の演出スタイルは、町で抱えている問題を涙あり笑いありで演出するため、「大子町発のエンターテインメント（人々を楽しませる催し）発信」として期待するところです。大子町の新たな文化活動として応援したいと思います！



FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。

放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。



6月定例会開催予定

- 6月定例会開催予定
- ▽6月5日(水) 開会
- ▽6日(木) 自宅審議
- ▽9日(日) "
- ▽10日(月) 一般質問
- ▽11日(火) "
- ▽12日(水) "
- ▽13日(木) 逐条審議

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- 委員長 福田祥江
- 副委員長 須藤明人
- 委員 川井正剛
- 委員 飯村靖一
- 委員 菊池一
- 委員 齋藤忠一

あとがき

このたび大子町議会議員選挙が行われ、11名の議員が心新たに地方議員として町民の皆様の負託に添えていくことになりました。

全国的に地方議員のなり手不足が深刻化する中、改選前の議会において約30年ぶりとされる議員報酬の見直しと定数の削減という合理的結論に達し、直面している町内各産業の担い手不足、高齢者が毎日楽しく過ごし活力のある生活を継続させるための福祉の充実など、積極的に諸問題に挑み、輝く東北地区の町として議会も貢献していくことが求められていると思います。

大子町の魅力をはっきりと定義して町の誇りに繋がるようにスタートダッシュしていきたいと思っています。

(飯村 剛)